

## 1. 意見

近年、地球温暖化による異常気象が全国各地で被害をもたらしています。天塩川流域においても、昭和の年代から数多く洪水が発生し尊い命が失われています。

昨年5月の低気圧・融雪及び10月の低気圧による天塩川の出水があり、下川町においてもサンル川・名寄川の氾濫で農地に大きな影響を及ぼしました。このように、年に2回も被害が起きるなど、今後ますます異常気象の影響による被害が予想され、流域住民として大変不安であります。

流域住民以外の方は、趣味である魚釣りのために河川の生態系保護が必要と過度に言っておりますが、流域住民の命に関わっている問題が全く度外視されているように思えます。

まずは、住んでいる流域住民の「安全・安心」を第1に考え、併せて河川環境についても配慮すべき事だと思います。また、報道機関も河川環境問題に偏った報道のみならず、流域住民が安心して暮らせることを1日でも早く望んでいる切実な思いを伝えていただきたい。

天塩川水系河川整備計画の中で洪水調節機能を持った「サンルダム」の建設が計画されています。流域全体の洪水調節、下川町・名寄市の水道水の確保などの機能を持った環境に配慮したサンルダムの着工・完成を1日でも早く実現し、流域住民が安心して暮らせるよう期待しております。